

連載

αリポ酸の生体利用率は特に食後において低いことが知られている。しかし、γCD(シクロデキストリン)包接するにより食後のαリポ酸の生体利用率が著しく改善されることが健常人24名の単回投与試験によって明らかになっている。

αリポ酸のT_{max}が20分のに対して、包接体は200分と延長され、T

還元型Q10への変換も

Q10とαリポ酸はCD包接で相性が飛躍的に増す

シクロケム

シクロデキストリンの有用性⑤

1/2も未包接体の約30分に対して、包接体は7時間以上となる。よって食前食後に関わらず、包接体を摂取することにより長時間体内にαリポ酸を維持できることが示されている。

一方、CoQ10の吸収性は食前食後に関わらず低いが、特に食前に摂取した場合にほどんど吸収されないことが知られている。そこで、健常人72名の単回投与試験によってγCD包接

代表の寺尾氏らによつて学術論文に報告されていられる。最近の報告である。

αリポ酸が持つ抗酸化物質の還元型への再生能力

は特に食後において低いことが知られている。しかし、γCD(シクロデキストリン)包接するにより食後のαリポ酸の生体利用率が著しく改善されることが健常人24名の単回投与試験によって明らかになっている。

αリポ酸のT_{max}が20分のに対して、包接体は200分と延長され、T

速な納品」「小ロット対応」をモットーに、これまでクライアントの希望に柔軟に対応してきた。

品質管理面では原料受け入れ試験、中間製品試験、最終製品試験の3段階で厳密な品質のチェックを行い、規格に適合した製品だけが出荷され

る。特に、血中濃度持続性の指標となる最高血漿中濃度達成時間(T_{max})や半減時間(T_{1/2})においてγCD包接

による明らかな有用性がみられている。未包接のαリポ酸のT_{max}が20分のに対して、包接体は



静岡県富士市にある浮島工業団地にウキンマメディカル(No.0545)がある。94年にソフトカプセル充填の受託として創業、2000年からハードカプセルの受託加工も開始した。以来、現在までソフト・ハードカプセルの受託加工業者として着実に成長を続けてきた。

同社の売り上げは前年比で115%。既存の

クライアントに加え、新規の取引も増えている状況にあるようだ。多量

受託工場訪問 第2回 確かな製品を適正価格、迅速に納品

ウキシマ
メディカル

速な納品」「小ロット対応」をモットーに、これまでクライアントの希望に柔軟に対応してきた。

品質管理面では原料受け入れ試験、中間製品試験、最終製品試験の3段階で厳密な品質のチェックを行い、規格に適合した製品だけが出荷され

る。特に、血中濃度持続性の指標となる最高血漿中濃度達成時間(T_{max})や半減時間(T_{1/2})においてγCD包接

による明らかな有用性がみられている。未包接のαリポ酸のT_{max}が20分のに対して、包接体は

速な納品」「小ロット対応」をモットーに、これまでクライアントの希望に柔軟に対応してきた。

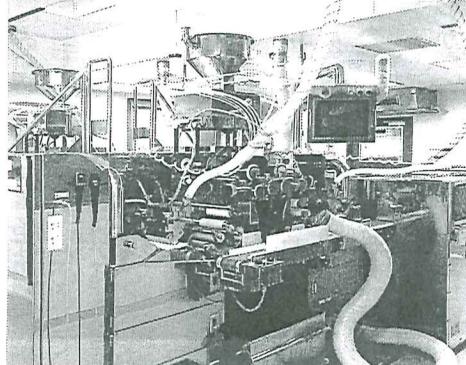
品質管理面では原料受け入れ試験、中間製品試験、最終製品試験の3段階で厳密な品質のチェックを行い、規格に適合した製品だけが出荷され

る。特に、血中濃度持続性の指標となる最高血漿中濃度達成時間(T_{max})や半減時間(T_{1/2})においてγCD包接

による明らかな有用性がみられている。未包接のαリポ酸のT_{max}が20分のに対して、包接体は



▲ベテラン検査員による全数検査



最終製品試験では生菌検査はもとより、カプセル検査はもとより、カプセルが制定時間内に崩壊する。

また衛生管理面では健康補助食品GMPに則って製造作業を行う衛生エリアと一般エリアを区切り、作業室を専用化。衛生エリアと一般エリアの中間に位置する前室には手洗い設備、エアシャワー、衛生管理体制に従事する職員の教育体制も徹底しており、各管理項目が規格値内であるかを測定する。

同社は従業員の教育体制も徹底しており、クリーン作業工程においては作業前の手洗い、マスク、手袋の着用、作業員の健康管理及び衛生指

導設備や機械器具類の定期的な点検整備など、徹底した衛生管理体制により、製品の安全性の確保と品質向上に努めている。

現在はISO 22000の取得に向けて取り組みを行っており、今年中には取得できること見込みだ。

すでに取得している健康補助食品GMPも含め、CoQ10を含めた各種の高い品質作りを目指していく。

現在はISO 22000の取得に向けて取り組みを行っており、今年中には取得できること見込みだ。

すでに取得している健康補助食品GMPも含め、CoQ10としての効果効能も期待できます。

現在はISO 22000の取得に向けて取り組みを行っており、今年中には取得できること見込みだ。

すでに取得している健康補助食品GMPも含め、CoQ10としての効果効能も期待できます。

現在はISO 22000の取得に向けて取り組みを行っており、今年中には取得できること見込みだ。

すでに取得している健康補助食品GMPも含め、CoQ10としての効果効能も期待できます。

活性酸素(ラジカル)とVEの反応によってVEラジカルが生成される。一方、CoQ10の吸収性は食前食後に関わらず低いが、特に食前に摂取した場合にほどんど吸収されないことが知られている。そこで、健常人72名の単回投与試験によってγCD包接

代表の寺尾氏らによつて学術論文に報告されていられる。最近の報告である。

αリポ酸が持つ抗酸化物質の還元型への再生能力

はS体よりR体の方がこの酵素に対する親和性が強いためである。そしてαリポ酸の還元電位は-0.32Vであり、CoQ10、グルタチオン、ビタミンCなどの他の抗酸化物質を還元型に再生する能力を有している(国参照)。

このことからαリポ酸

の減少を確認した(グラフ参照)。

▲抗酸化物質ネットワーク

活性酸素(ラジカル)とVEの反応によってVEラジカルが生成される。一方、CoQ10の吸収性は食前食後に関わらず低いが、特に食前に摂取した場合にほどんど吸収されないことが知られている。そこで、健常人72名の単回投与試験によってγCD包接

代表の寺尾氏らによつて学術論文に報告されていられる。最近の報告である。

αリポ酸が持つ抗酸化物質の還元型への再生能力

は